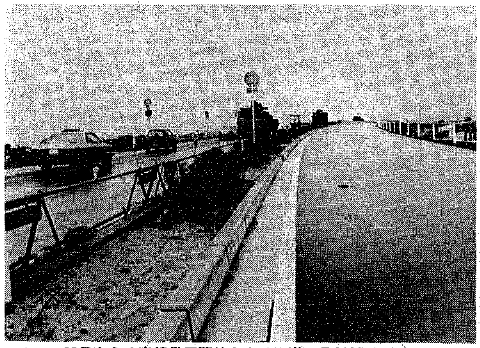
市報 にいがた
昭和61年 10月 12日 第1024号
発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866 編集 企画部広報課 印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（8月末現在）

人口	468,630人
男	228,129人
女	240,501人
世帯数	153,797世帯

新バイパス「海老ケ瀬―競馬場」間 20日から4車線に 一日市インターも完成

国道7号新新バイパスのうち、海老ケ瀬インターから競馬場インターまでの間約五・九㌔㍍が、今月二十日から四車線供用開始となります。これと併せて、同区間に新設される一日市インターと、市道下山一日市線も同時に開通となり、交通混雑の緩和に役立つものと期待されます。


20日から４車線供用開始となる国道７号新新バイパス

国道7号新新バイパスは新潟市大形本町から新発田市奥山新保までの延長十七・二㌔㍍。四十八年度に着工し、五十二年十月に海老ケ瀬インターから競馬場インターまでの間五・九㌔㍍、五十六年十二月に競馬場インターから東港インターまでの間四・八㌔㍍が既に暫定二車線で開通しています。

海老ケ瀬インターから競馬場インターまでの間は、五十八年から二車線増設工事が行われていたもので、幅七㍍。既設の二車線との間に幅二・五㍍の中央分離帯が設けられ、往復四車線となります。

同区間は、朝夕のラッシュ時や新潟競馬開催中などは特に交通量が多く、六十年の調査（阿賀野川大橋左岸で実施）では、一日約三万五千三百台と、五十八年より三千五百台も交通量が増えています。

同区間の四車線化により、交通混雑はかなり緩和されるものと期待されます。

また、一日市インターの供用開始に併せて、市が都市計画道路として整備を進めてきた市道下山一日市線延長二百十五㍍も同時に開通します。

一日市インターの開通により、新新バイパスから市道下山一日市線、一日市14号線、山の下東港線、太平松崎線を経て国道345号を結ぶ交通体系の整備が図られ、新潟空港への交通が便利になります。

きれいな浜をありがとう
清掃協力者８人に市長から感謝状

海岸や道路、公園、ごみステーションなどを自発的に長年にわたって清掃してこられた八人の清掃協力者の方々に今月四日、若杉市長から感謝状が手渡されました。

表彰された方々と活動の内容は次のとおりです（敬称略）。

【海岸清掃】

▽遠藤仁作（室町二）▽岩野祐吉（西大畑町）▽笹川甚二（上大川前通十二）▽岡本信吾（学校町通二） 以上四人の方は、窪田町浜から関屋分水までの間を分担し毎朝二時間以上、海岸清掃を続けている方々です。

【地域清掃】

▽小竹真蔵（花園二。早朝四時ころから毎朝、花園町寄りの東こ線橋の階段や道路を清掃）▽小泉二作（南笹口一。自町内や近隣町内の公園、ごみステーション、下水溝などの清掃や薬剤散布）▽真田カズイ（赤塚。ごみステーション、道路に散乱する空き缶やごみなどの回収）▽坂井トミ（神谷内。通勤・通学道路の清掃や除雪）

若杉市長から感謝状を受ける遠藤仁作さん

市職員を募集
申し込みはあす13日から

看護婦（士）、助産婦

㊟受験資格

〈看護婦・看護士〉 昭和二十八年四月二日以降の生まれで、次のいずれかに当たる人

㋐看護婦、看護士免許取得者

㋑保健婦助産婦看護婦法による看護婦学校、または看護婦養成所を来年三月三十一日までに卒業する人で、看護婦または看護士免許を取得見込みの人。

〈助産婦〉 昭和二十八年四月二日以降に生まれた女性で、次のいずれかに当たる人。

㋐助産婦免許取得者

㋑保健婦助産婦看護婦法による助産婦学校、または助産婦養成所を来年三月三十一日までに卒業する人で、助産婦免許を取得見込みの人。

㊟採用試験

試験日 十一月二日（日）

試験会場 市立高志高校

試験内容 筆記試験（教養、専門）、適性検査、第二次試験（一次試験合格者を対象に後日実施）

採用予定者数 看護婦（士）…百人程度、助産婦…若干名

試験案内・申込用紙 人事課（本庁舎二階）へ請求下さい。郵送希望の人は、あて先を明記した返信用封筒（六十円切手をはる）を同封し、請求する封筒の表に「案内請求」と朱書きして人事課（〒九五一 西堀通六―八六六）へ

申込期間 十月十三日～十月二十五日、午前八時半～午後五時（土曜は正午まで、日曜は休み） ※郵送での申し込みは十月二十五日の当日消印有効

問い合わせ 人事課へ

赤い羽根共同募金にご協力を

今年も年末まで、「赤い羽根」共同募金が全国一斉に行われています。この共同募金は十月の「一般募金」と、その後の「歳末助け合い募金」の二つの運動から成り、昭和二十二年にスタートし今年で四十年目になります。

寄せられたお金は、身寄りのない子供たちやお年寄り、心身に障害のある人たちをはじめ、これらの人たちのために活動している民間の福祉施設などへ贈られます。

寄付の目安として、一世帯二百円、職場では一人三百円、事業所として三千円以上お願いしています。強制的な割り当てではありませんが、皆さんのご協力をお願いします。

農林水産業、健康まつりきょう開催

生産者と消費者の相互理解を深めるため、きょう十二日午前九時半から午後三時まで農林水産業祭が古町通六、七番町で開かれます。

新鮮な野菜や果物、水産物、畜産物が格安で即売されるほか、もちつきなどの楽しい催し物も用意して、家族ぐるみのご来場をお待ちしています。

また、この祭りの会場（古町七）では、市民健康まつりも同時開催します。参加者から、楽しみながら健康について知っていただく集いです。

どうぞ、こちらの会場にもお立ち寄り下さい。

電話案内

市役所	28―1000
教育委員会	28―1000
体育課	29―6633
野球場・テニスコートの申し込み	66―8111
火災の場所を知りたいとき	24―1111
市民病院	41―5151
園芸センター	86―1034
東保健所	43―5311
石山地区保健センター	86―4450
鳥屋野地区保健センター	85―2373
北地区保健センター	59―7332
西保健所	66―5171
西地区保健センター	62―3405
坂井輪地区保健センター	60―3255
市医師会休日急患診療センター	31―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	83―3030

「動く市政教室」参加者募集
スポーツ・文化施設を見て秋を感じてみませんか

日時 10月21日午前８時50分市役所本庁舎中庭集合、午後３時半本庁舎前解散

コース サンスポーツランド濁川～鳥屋野総合体育館～園芸センター～美術館～音楽文化会館 ※鳥屋野総合体育館では家庭でできる軽い運動を紹介し、美術館では館長から開館１年を振り返ってのテーマで話しがあります。 **定員** 45人

持参品 昼食、筆記用具、運動靴

申し込み 10月13日午前８時半～午後５時までに電話で市民相談室へ ※申し込み多数の場合は抽選、結果は14日午後に電話で連絡します。

くらしの一日教室
「知っておきたい乳製品の知識」

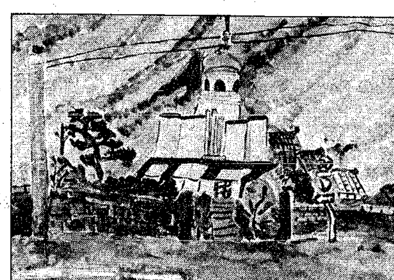
日時 十月二十二日午前十時～正午

会場 中央公民館

定員 四十人（応募多数の場合は抽選）

申し込み 十月十三日午前八時半～十四日午後五時までに電話で市消費生活センター（☎28―八一〇〇）へ

ちびっ子の散歩道⑮
北葉町の慈光寺



これは、北葉町の慈光寺のそばの道です。どうして、この場所を選んだかと言うと、よくこのお寺の前を通るからです。友達とやくそくのない時などは、一人散歩気分で通ります。

それから、お寺なのに、変な形をしていておもしろいからです。たとえば、上の方が肉まんのような形をしているのです。

このお寺の前に来ると、一番上へ上りたいなあと思う時があります。

山の下小学校４年

五十嵐善郎くん